

平成28年熊本地震から7年

災害歯科「受援対応座談会」 ～ 熊本地震における南阿蘇地区での 歯科支援対応を振り返る ～

平成28年熊本地震から7年、あの時の経験を次に活かし発展させるべく、さまざまな提案や研修をしてきました。その中で、地域ごとに「被災時の受援」を検討してみたりしていますが、なかなか深みのある議論になりません。

そこで、あの時の受援のポイントはどこにあったのか、南阿蘇地区を事例に、「外部支援コーディネーター」であった太田秀人先生から、「現地災害歯科コーディネーター」であった田上大輔先生に投げかけながら、災害時の歯科支援の受援のポイントを探り、紐解いてみたいと思います。

また、指定発言も含めて、ご参加の方々からご質問などいただき、パネルディスカッションのような座談会スタイルで、ざっくばらんに話し合ってみてみたいと思います。

司会進行： 中久木 康一(日歯災害歯科コーディネーター(当時))

話題提供： 太田 秀人(南阿蘇地区外部歯科支援コーディネーター(当時))

登壇： 田上 大輔(南阿蘇地区現地災害歯科コーディネーター(当時))

指定発言： 南阿蘇地区への歯科支援チームメンバー、
(調整中) 熊本県の歯科関係者、ほか

主催：日本災害時公衆衛生歯科研究会

後援：(一社)熊本県歯科医師会

問合せ：jsdphd-admin@umin.org

※ 承諾いただいた発言部分に限り、後日、記録は公開したいと考えています

参加無料!

先着90名

申込(先着) 4月9日まで
<https://onl.sc/gCR8BeC>

